



シリーズ タンチョウ

Vol. 332

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

櫻井真弓

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



もうすぐタンチョウの季節です！ シーズン前に思うこと

鶴居村にタンチョウが集まる季節になりました。まだ雪が降る前の今の季節、タンチョウは給餌には頼らずに、刈取り後のデントコーン畑を歩き来しながらモリモリ食べて、冬に備えて脂肪を蓄えます。

サンクチュアリネイチャーセンターは毎年10月1日から開館していますが、タンチョウのいない給餌場は、今はまだ普通の牧草畑です。昨年度の飛来状況を確認してみると、タンチョウの初飛来日は11/8で、子どもを1羽連れた1組の家族でした。その後は、タンチョウが来る日もあれば来ない日もあり、毎日飛来するようになったのは11月20日を過ぎてから。その頃になると、積雪が無くても地面が凍れて畑でコーンを拾ったり、土をほじって草の根や虫を食べるのが難しくなるからでしょう。過去の記録を調べると、11月上旬にはタンチョウが給餌場に定着していた年もありました。今シーズンは、少し早めに毎日タンチョウが見られるようになると良いなと思っています。

毎年12月10日前後にサンクチュアリにやってくる20Pは、2003年に根室で生まれたオスの標識鳥で、冬の間は毎日サンクチュアリを利用している常連さんです。いつも柵に近いところに陣取っていて、家族以外とは距離を置いて過ごしています。昨シーズンは子どもがいなかったので、給餌場への出入りも必ずつがい2羽の単独行動でした。給餌場では、多くのタンチョウが東や南方向から飛んできて、同じく東や南方向に飛び去るのですが、20Pは飛来も飛去も北の方向です。北方向から2羽で飛来し、柵近くに着地するタンチョウがいたら、ほぼ間違いなく20Pのつがいです。そんなタンチョウを見た時には、来館者に「きっと20Pですよ」とお知らせして、モニターに標識を映し出します。



飛び立つ瞬間の20P（撮影：飯田隆夫さん）
給餌場では柵越しに左方向が北になります

20Pのおかげで、タンチョウにも性格があることを知ってもらえます。しかも、行動パターンで20Pを見分ける私は、とてもプロっぽいので称賛の的です。昨シーズンは、20Pに本当にお世話になりました。どうか今シーズンも、いつもの行動パターンを変えることなく、そして願わくば子供を連れてサンクチュアリで過ごして欲しいと思っています。

ネイチャーセンターでは、10月1日の開館に合わせて第28回タンチョウイラスト展を開催しています。今年は村内外の子どもたちから、素敵なイラスト345点が集まりました。サンクチュアリでタンチョウを観察できるのは11月中頃からになりますが、ネイチャーセンターの2Fでは、色とりどりの個性的なイラストのタンチョウをご覧いただけます。タンチョウの季節より一足早く、子どもたちの描いたタンチョウ達に会いに来てください。今シーズンも皆様のご来館を心よりお待ちしております。